

避難訓練（地震・津波・避難所開設）[11月12日]実施要項

平成25年11月12日（火）総務（教頭）

1. ねらい
- (1) 生徒に地震発生・津波警報発令時における緊急避難の方法を身につけさせるとともに、教師が適切、迅速な避難誘導をできるようにする。
 - (2) 津波警報発令時における避難所開設の場面において、高齢者の介助等「共に支え合って行動する」ことについて考えられるようにする。

2. 日時 平成25年11月12日（火） 14:25～15:30

*雨天時は外への避難を行わず、理科室前ホールに集まる。

3. 参加者 生徒、職員、根室市、消防、社会福祉協議会

3. 当日の流れ（事前準備作業・最終打合せ（13）時（30）分）

（時間） （生徒の動き） （職員の動き）

14:20～14:25

・各担当場所で清掃活動を行う。

・各指導場所で生徒指導に当たる。

<地震想定>

14:25～

<緊急避難放送（教頭） *震度7クラスの地震発生>
 「訓練です。訓練です。緊急避難通報を発令します。
 ただいま、校舎が大きく揺れています。安全な姿勢をとり、地震がおさまるのを待ちなさい。」（繰り返す）

*教室等 机の下にもぐり込み、机の脚をしっかりと持つ。<前後に！>
 *その他 物が崩れず、ガラスなどから離れてしゃがみ、頭を保護する。

*職員は「安全な姿勢」をチェックする。

（30秒後）「大きな揺れがおさまりました。生徒は先生の指示に従って、近くの避難口から駐車場へ避難しなさい。」（繰り返す）

*避難場所 駐車場
 （なるべく校舎から離れて集合する）
 *避難口 玄関・給食搬入口・体育館
 *上靴のまま外に出る
 *「押さない」「話さない」「離れない」を守り、周りに注意をしながら避難する

*時間計時・・・校長先生

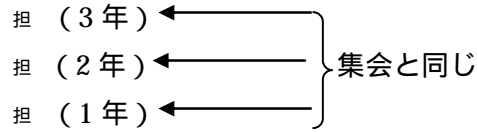
<避難する際の職員の動き>

*避難口確保・生徒誘導 各担当職員・近くにいる職員
それぞれ残っている生徒がいらないか大声で確認をして駐車場へ
各避難口最後の職員は、校舎から少し離れ、教頭の手の合図で確認。
 *貴重品・必要品持ち出し ・さん ・さん
 職員室のチェック、救急箱、必要品等の持ち出し
 *できるだけ担任は避難場所で受け入れ体制がとれるように、お互いに声を掛け合って確認をする。

(時間)

* 整列 (グラウンド側を向く)
(グラウンドの時は落石港側を向く)

<校門>



* 職員は生徒と校舎の間に入る。

<校舎>

* 整列指導

- ・各担任 生徒に整列指示
- ・T けが人等のチェック
状況に応じて応急手当
列から抜けた生徒を必ず報告する。
- ・他職員で校舎の倒壊・車両の
進入に気を配りながら誘導・整
列する。

* 人員確認

<人員確認の流れ>

* 順番: 級長 学級担任 教頭 校長 <担任も級長と同時に確認をする>

* 報告: どの生徒でも状況をハキハキ報告できるように事前指導しておく。

「 年生、 名、全員います」

「 年生、 名、欠席の・・・以外全員います」

「 年生、 名、・・・が治療している以外全員います」

「 年生、 名、・・・と・・・が揃っていません」

* 報告が終わったクラスからその場にしゃがむ

* 人員報告された時点で計時
を一時ストップする。
(校長先生)

14:30~

<津波想定
訓練>

「ただ今、(大)津波警報が発令されました。」

「本校は、この地域の避難場所になっています。これから校舎の安全を確認
しますので、このまま待機して下さい。」

* そのまま待機する

- ・自分の場所を勝手に動かない
- ・迎えが来ても家には帰らない

* 校舎の安全確認

1階
(玄関~体育館)

2階
(各教室の確認

と家庭科室の解錠を行う)

安全確認後、
必ず報告する

「校舎の安全が確認されました。これから校舎2階(2年生教室)へ避難し
ます。先生の指示に従って、速やかに移動してください。」

* 玄関に雑巾を用意し、上靴の汚れを拭いてから2階の各教室へ避難
しっかりと拭くこと（保護者・地域の方はスリッパ）
 雑巾・バケツを事前に準備（指導部・さん・）

* 避難場所 中学生 2年生の教室
 地域の方 家庭科室

* 各担任は避難場所を指示する。（保護者は自分の子どもと同じ場所へ）

人数確認 2教：担任
合計人数を職員室へ 市担当職員へ
 「年教室、中学生・職員名、全員います。その他名、合計名です。」

14:35~

<避難所開設訓練>

* 教室に入ったら、勝手に出歩かない。

開設判断は本部（市職員）丹野 職員へ伝達 生徒へ伝達（教頭）

「体育館に避難所を開設することが決定しました。これから準備を行いますので、担当の先生の所へ集合してください。」

* 担当の先生の所へ集まり指示を受ける。

* 担当ごとに指示・確認をする。確認後、教頭へ報告

* 高齢者役（各2名） 家庭科室へ

* T 家庭科室で補助

<担当と内容>

本部開設・・・本部設置（職員室・体育館）避難名簿、情報の収集・発信
 校長・教頭・さん 市担当職員

A：電気の提供・・・発電機、スポットライト、ジェットヒーター
 1年2名、2年3名、3年1名 T・ T・さん

B：休憩場所の確保・・・パイプイス、体育用マット
 1年2名、2年3名、3年1名 T・ T・ T

C：避難者の誘導・・・家庭科室から体育館休憩場所への安全な移動
 1年1名、2年2名、3年生1名 T・ T

14:50~

<避難者（高齢者）補助活動>

* カーテンを閉め、電気を使用せずに行う。

【避難所開設のグループ単位で交代をしながら行う】3グループ編成

高齢者役 介助役 被災地の様子について話を聞く（市防災担当）

* 高齢者役は「補助内容」について書かれたカードを引き、介助役に用件として伝える。

<補助内容：「トイレに行きたい」「水が飲みたい」「寒い」など>

* 介助役は、用件の解決に向けて必要な支援を行う。

<トイレでの介助、備蓄飲料水、毛布の提供 など>

* 職員は、生徒の支援を行う

15:20~

15:30

・訓練のまとめ（全体確認）
 * 各学年1名、各担当より簡単な講評後、解散（生徒は教室へ戻り、感想等記入へ）

* 担任以外職員で後片付け
 * 理科室にてミーティング

< 事前準備 >

(避難用)

- ・ストップウォッチ ・拡声器 ・雑巾・バケツ(靴拭き用)
- ・出席簿(すぐに持ち出せるように分かりやすい場所に置いておく 持ち出し: 教頭)
- ・重要書類の持ち出し(ダミー): さん

(体育館)

- ・ホワイトボード ・ホワイトボード ・携帯ラジオ ・ゴミ袋 ・箱ティッシュ など

今後に生かしていくためにも、各担当で「必要なもの」について考えておいて下さい。